

財政指数(平成27年度決算)

経常収支比率		83.9(84.1)
健全化判断比率	実質赤字比率	—
	連結実質赤字比率	—
	実質公債費比率	8.2(8.4)
	将来負担比率	12.4(33.4)
資金不足比率		—

※表中の() 数値は、秋田県内12町村の平均です。
 ※表中の「-」は、赤字、資金不足がないことを示しています。

【用語の解説】

【経常収支比率】

経常収支比率は、地方税や地方交付税、地方譲与税を中心とする一般財源収入の中で、人件費や扶助費、公債費等の義務的に支払わなければならない経費がどの程度の割合を占めているかをしめす指標で、この数値が高くなるほど財政が硬直化していることとなります。町村は75%以下が望ましいとされています。

【実質公債費比率】

実質公債費比率は、公債費(借入返済金)の財政負担の程度を示す指標です。この比率が18%以上になると地方債の発行に県知事の許可が必要となり、25%以上になると一部の地方債の発行が制限されます。

【将来負担比率】

将来、一般会計等(普通会計)で負担することが見込まれる金額(地方債の残高、退職手当の負担見込など)の標準財政規模(※)に対する割合を示す比率です。350%を下回っていれば適正といえます。

※標準財政規模…自治体が標準的な行政サービスを提供するために必要な一般財源の規模をあらわしたもので、町税や普通交付税などが主なものです。

健全化判断比率・資金不足比率

「地方自治体の財政の健全化に関する法律」において、地方自治体の財政の健全性に関する比率を公表することとなっています。平成27年度決算に基づく八峰町の健全化判断比率及び資金不足比率は、いずれも国が示す財政健全域の範囲内にあります。

基金残高(平成27年度末)

基金名	(単位:千円)
財政調整基金	25億7,035万1千円
減債基金	5,134万円
合併町村振興基金	10億5,897万4千円
地域福祉基金	1億1,287万円
奨学資金貸付基金	1億8,430万円
雇用創出基金	3,323万7千円
観光振興基金	2,144万3千円
ふるさと八峰応援基金	853万円
高額療養費貸付基金	335万3千円
高額介護サービス費等資金貸付基金	282万円
自然再生基金	366万円
国民健康保険事業基金	5千円
介護給付費準備基金	3,424万4千円
簡易水道基金	4,251万8千円
合計	41億2,764万5千円

町債残高(平成27年度末)

会計種別	(単位:千円)
一般会計	80億4,071万6千円
簡易水道特別会計	20億2,081万6千円
公共下水道事業特別会計	17億3,939万円
農業集落排水事業特別会計	5億7,441万3千円
漁業集落排水事業特別会計	2億8,186万円
合併処理浄化槽事業特別会計	924万6千円
合計	126億6,644万1千円

平成27年度末における八峰町の借入金(町債)の残高です。借入金は、将来にわたって計画的に返済していきます。

平成27年度 八峰町の財政状況についてお知らせします

平成27年度決算は対前年度比、歳入で848百万円増(12.5%)、歳出で798百万円増(12.8%)となっています。これは、統合小中学校改修事業により歳入では国補助金及び起債、歳出では建設事業費が大幅な増となったことが主な要因となっています。歳入歳出の主な増減の要因は以下のとおりです。

歳入の国庫支出金は、がんばる地域交付金180百万円が減となりましたが、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金65百万円や学校施設環境改善交付金180百万円が増となり、全体で119百万円(26.2%)の増となりました。起債は、減となったものもありましたが第三セクターである(有)峰浜培養への追加出資金85百万円、統合小中学校改修事業が481百万円の増となり、全体では431百万円(64.8%)の増となりました。

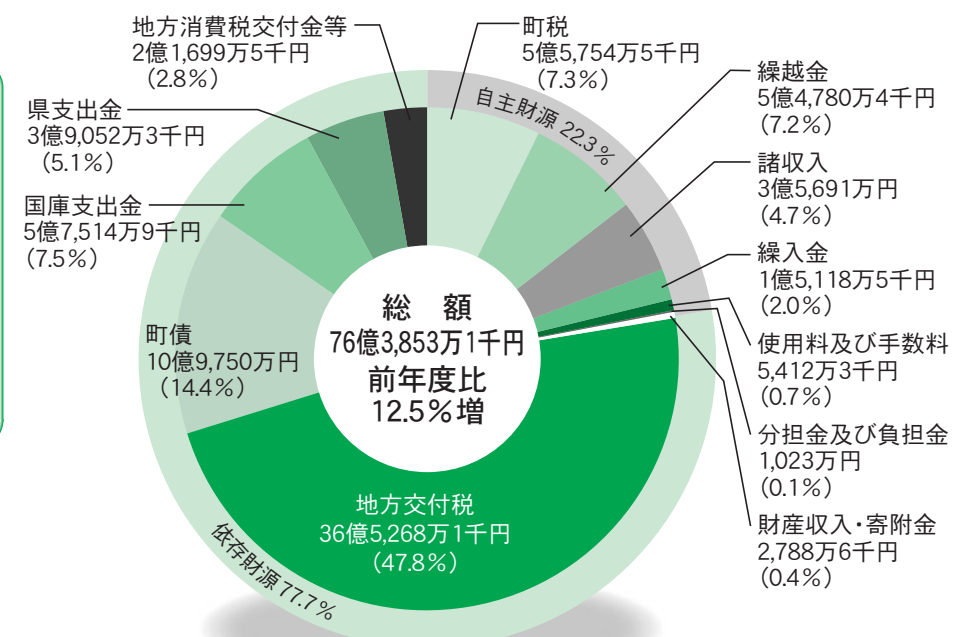
歳出は投資的経費で、八森地区統合子ども園建設事業の終了で117百万円の減となりましたが、統合小中学校改修工事が818百万円の増となり、全体では、672百万円(510.1%)と、大幅な増となりました。

【決算収支の状況】(千円)

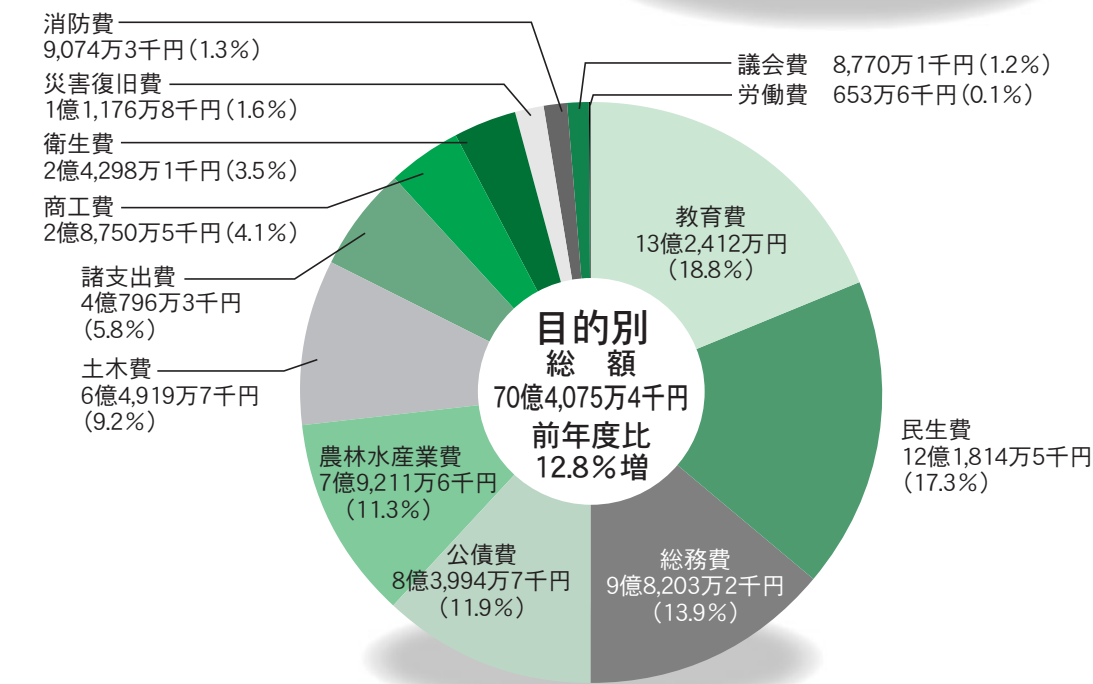
歳入総額	……76億3,853万1千円①
歳出総額	……70億4,075万4千円②
差引(①-②)	……5億9,777万7千円③
翌年度に繰り越すべき財源	……7,592万2千円④
実質収支(③-④)	……5億2,185万5千円⑤

※実質収支：実質的な翌年度(平成28年度)への繰越金です。

■一般会計(歳入)



■一般会計(歳出)



特別会計の決算収支

平成27年度において八峰町には10特別会計がりましたが、いずれの会計も黒字決算となりました。

特別会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業勘定特別会計	13億1,741万円	12億4,740万4千円	7,000万6千円
介護保険事業勘定特別会計	12億3,382万9千円	11億9,968万円	3,414万9千円
後期高齢者医療特別会計	8,047万9千円	8,031万8千円	16万1千円
沢目財産区特別会計	2,192万8千円	1,280万4千円	912万4千円
町営簡易水道事業特別会計	4億3,277万2千円	3億9,067万円	4,210万2千円
公共下水道事業特別会計	3億4,319万8千円	3億2,072万9千円	2,246万9千円
農業集落排水事業特別会計	9,094万7千円	8,811万3千円	283万4千円
漁業集落排水事業特別会計	6,627万円	6,434万4千円	192万6千円
合併処理浄化槽事業特別会計	523万円	353万8千円	169万2千円
町営診療所特別会計	7,841万8千円	7,033万1千円	808万7千円
合計	36億7,048万1千円	34億7,793万1千円	1億9,250万円